

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートキッズいりばる		
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日 ~ 令和7年5月23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ~ 令和7年5月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	内容等を振り返りながら、飽きないように楽しく取り組める工夫をしています。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
2	事業所の職員から共感的に支援をされていること。	お子さまの立場に立って考えられるよう努めてまいります。その上で、保護者の心配事や不安にも寄り添えるよう接しさせていただいています。	保護者に寄り添いつつ、心配事や不安を取り除いていけるよう努めてまいります。
3	毎回振り返りを実施し、反省点や課題を出し合い、次回の療育に活かすことができる。	療育内容や、児童の様子を活動記録に記し、全職員が情報共有と共通理解できるようにしている。	振り返りの時間、職員が意見を言い易い雰囲気を作り、より多くの意見を出し合えるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しても家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報共有の機会等があるか	プログラムとしてペアレント・トレーニングを実施していない為機会が少ないです。	ペアレント・トレーニングは今後必要に応じて検討いたします。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	同法人内で長期休みなどには交流する事ができいているが、それ以外は交流する場面が少ない。	きょうだい交流や地域交流が行えるように検討していく。当事業所以外での交流できる場の情報収集を行う。
3	保護者様が事業所や子どもの様子を気軽に参観出来る機会があるか	事業所内を案内したり、子どもの様子を実際に見れたりする機会を設けられていない。	今後は、行事や活動の参観、保護者同士の交流の機会を検討している。